

公共図書館 電子図書館・電子書籍貸出サービスアンケート 2019

2019年7月23日

■アンケート■

【1】ご回答図書館のプロフィール記載

ご回答館（者）についてご記入ください
※1-1 は記入必須となります。

Q1【1-1】 貴図書館名

Q2【1-2】 ご担当者お名前

Q3【1-3】 ご連絡先メールアドレス（半角英数字でご入力ください）

Q4【1-4】 部署名

Q5【1-5】 電話番号

Q6【1-6】 都道府県

※個人情報の取り扱いについて

ご記入いただいた個人情報は、アンケート結果の発表会及び図書館における電子書籍サービスのセミナーのご案内で使用する以外は利用いたしません。

また、個人情報についての、訂正、変更、削除等のお問い合わせは、電流協事務局にご連絡ください。

※このアンケートの用語の説明について

このアンケートで使われる用語については、アンケートとは別途に「図書館の電子書籍に関する用語の説明」を添付していますのでご参照ください。用語の説明については引き続き更新し、電流協ホームページで参照できるようにいたします。

Q7【1-7】 図書館所在の自治体区分について選択肢からご選択ください(一つ選択、回答必須)

- (1) 都道府県立図書館
- (2) 政令市立図書館
- (3) 特別区（東京都）立図書館
- (4) 市町村立図書館

Q8【1-8】 アンケート集計資料の送付方法について選択肢からご選択ください(一つ選択)

※ご回答下さった図書館には回答者様宛にメールでアンケートの集計結果をお送りいたします。

- (1) メールによる送付を希望（メールアドレス必須）
- (2) 送付不要
- (3) その他

【2】電子図書館サービスで導入・検討しているサービスについて

Q9【質問 2-1】「電子図書館サービス」として実施しているものがありましたら、選択肢からご選択ください(複数選択可)

※このアンケートにおいて「電子図書館サービス」とは、(1) 電子書籍貸出サービス (2) 国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス、(3) データベース提供 (新聞データベース等)、(4) デジタルアーカイブの提供、(5) 音楽・音声配信サービスとなります。その他の「電子図書館サービス」については、「その他」に具体的にご記入ください。

※Web での図書検索・貸出予約サービス、OPAC 検索は、アンケートの「電子図書館サービス」には含まれていません

(1) 電子書籍貸出サービス

→例：TRC-DL、Rakuten OverDrive 等

(2) 国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス

(3) オンラインデータベース提供サービス

→例：聞蔵Ⅱ、ヨミダス、日経 BP 記事検索サービス、医中誌 Web 等

(4) デジタルアーカイブの提供

(5) 音楽・音声情報配信サービス

→例：ナクソス・ミュージック・ライブラリー、国立国会図書館歴史的音源提供サービス等

(6) その他 (記載)

【3】「電子書籍貸出サービス」について

Q10【質問 3-1】 貴館の「電子書籍貸出サービス」の状況について、選択肢からご選択ください(一つ選択)

※「電子書籍貸出サービス」とは、電子書籍を期間等を限定して貸し出すサービスです

- (1) 電子書籍貸出サービスを実施している
 - (2) 電子書籍貸出サービスを実施する予定が具体的にある
 - (3) 電子書籍貸出サービスの実施を検討中（まだ具体的でない）
 - (4) 電子書籍貸出サービスを実施する予定はない
 - (5) その他（記載）
-

Q11【質問 3-2】 利用者の「電子書籍貸出サービス」のメリットについて、期待(未導入の図書館)・評価(すでに導入している図書館)できる機能を、選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1) 図書館に来館しなくても電子書籍が借りられる機能
 - (2) 文字の音声読み上げ、オーディオブック機能
 - (3) 外国語朗読データ（オーディオブック等）による学習支援機能（外国語学習者等への対応）
 - (4) 文字拡大機能
 - (5) 外国語電子書籍の提供
 - (6) 文字と地の色の反転機能（読書障害等への対応）
 - (7) マルチメディア機能（映像や音声、文字などのリッチコンテンツ提供）
 - (8) 電子書籍の紙出力による提供機能（コンテンツのプリントアウト）
 - (9) 必要な情報発見の検索機能（コンテンツ全文検索等）
 - (10) その他（記載）
-

Q12【質問 3-3】 図書館運営管理者の「電子書籍貸出サービス」のメリットについて、期待(未導入の図書館)・評価(すでに導入している図書館)できる機能を、選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1) 貸出・返却・予約業務の自動化
 - (2) 図書館サービスのアクセシビリティ対応(障害者差別解消法、読書バリアフリー法等への対応)
 - (3) 書架スペース問題の解消
 - (4) 汚破損・紛失の回避
 - (5) その他(記載)
-

Q13【質問 3-4】 質問 3-1 で(1)(2)(3)を選択された方に、電子書籍サービス提供方法について、選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1) 登録利用者の自己の電子書籍端末(スマホ・タブレット等(パソコン含む以下同じ))に電子書籍コンテンツを提供
 - (2) 図書館の管理する電子書籍端末に電子書籍コンテンツを提供
 - (3) その他(記載)
-

※【質問 3-5-1】～【質問 3-5-9】については質問 2-1 で(1)「電子書籍貸出サービスを実施している」を選択された方についてお答えください

Q14【質問 3-5-1】 質問 2-1 で(1)「電子書籍貸出サービスを実施している」を選択された方について、外部事業者サービスは以下の(1)～(4)からご選択ください。当てはまらない場合は(5)その他をご選択ください(複数選択可)

※(1)について「2016年10月以前導入については「TRC-DL」を指します。

- (1) LibrariE&TRC-DL(図書館流通センター(日本電子図書館サービスコンテンツ))
 - (2) Rakuten OverDrive(メディアドゥ)
 - (3) Kinokuniya Digital Library(KinoDen)(紀伊國屋書店)
 - (4) EBSCO eBooks(EBSCO Japan)
 - (5) その他(記載)
-

Q15【質問 3-5-2】<質問 2-1 で(1)「電子書籍貸出サービスを実施している」を選択された方について>
「電子書籍貸出サービス」を実施する場合の課題について、懸念される事項がありましたら、選択肢からご選択ください(複数回答可)

- (1) 電子図書館導入予算の確保
 - (2) 担当部署、担当者の問題
 - (3) 図書館利用者からのニーズ
 - (4) 電子書籍貸出サービスの導入に対する、費用対効果
 - (5) 電子書籍貸出サービスで提供されるコンテンツについての課題
 - (6) 電子書籍貸出サービスが継続されるかどうか(サービス中止に対する不安)
 - (7) 図書館の電子資料を他の図書館へ貸し出すための方法や基準
 - (8) 電子書籍貸出サービスを実施するための十分な知識(経験)がない
 - (9) 電子書籍貸出サービスを選択する場合の基準や方法がわからない
 - (10) 利用者に対する電子書籍貸出サービスの説明
 - (11) その他 (記載)
-

Q16【質問 3-5-3】 <質問 2-1 で(1)「電子書籍貸出サービスを実施している」を選択された方について>

質問 3-5-2 で(5) (コンテンツについての課題)を選択された方におかれまして、以下の懸念がありましたら、選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1) 提供されている電子書籍コンテンツのタイトル数が少ない
 - (2) 新刊のコンテンツが提供されにくい
 - (3) ベストセラーが電子書籍貸出向けに提供されない
 - (4) 電子書籍貸出案内ページが、目が不自由な人や外国人住人への対応が不十分
 - (5) コンテンツの規格がわかりにくい
 - (6) コンテンツの価格
 - (7) コンテンツ購入(提供)費用の会計処理の基準
 - (8) コンテンツを閲覧するビューアが自由に選べない
 - (9) その他(記載)
-

Q17【質問 3-5-4】 <質問 2-1 で(1)「電子書籍貸出サービスを実施している」を選択された方について>

図書館の一般登録者と電子書籍貸出サービスの利用登録者を区別しているかをご回答ください(一つ選択)

- (1) 一般登録者と電子書籍貸出サービスの利用登録者を区別している
 - (2) 一般登録者と電子書籍貸出サービスの利用登録者を区別していない
 - (3) その他(記載)
-

Q18【質問 3-5-5】 <質問 2-1 で(1)「電子書籍貸出サービスを実施している」を選択された方について>

昨年度(サービス開始から1年未満の場合はこれまでの合計)の電子書籍の閲覧件数、貸出件数をご記入ください。

- (1) 閲覧件数 [_____]件
(2) 貸出件数 [_____]件

Q19【質問 3-5-6】 <質問 2-1 で(1)「電子書籍貸出サービスを実施している」を選択された方について>

「電子書籍貸出サービス」を導入後の感想を選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1) 計画(予想)よりも、利用(利用者)が多い
(2) 計画(予想)通りの利用数である
(3) 計画(予想)よりも、利用(利用者)が少ない
(4) その他(記載)
-

Q20【質問 3-5-7】 <質問 2-1 で(1)「電子書籍貸出サービスを実施している」を選択された方について>

「電子書籍貸出サービス」を導入の運営管理について(複数選択可)

- (1) 運用・管理は予定通りである
(2) 運用・管理が煩雑で負担が大きい
(3) 利用者(利用希望者)からの説明希望が少ない
(4) 利用者(利用希望者)からの説明希望が多い
(5) その他(記載)
-

Q21【質問 3-5-8】 <質問 2-1 で(1)「電子書籍貸出サービスを実施している」を選択された方について>

「電子書籍貸出サービス」で購入(契約)している電子書籍コンテンツのタイトル数について、記入可能であればご記入ください(数値記入)

(1) 電子書籍コンテンツのタイトル数
[]件

Q22【質問 3-5-9】 <質問 2-1 で(1)「電子書籍貸出サービスを実施している」を選択された方について>

電子書籍コンテンツ購入について、「資料費」扱いの場合の全体における割合又は費用項目(「使用役務」又は「委託料」)をご選択ください

※わかる範囲、ご選択できる範囲で結構です

- (1) 資料費の 10%未満
- (2) 資料費の 10%以上～20%未満
- (3) 資料費の 20%以上
- (4) 「使用役務」に含んでいる
- (5) 「委託料」(指定管理委託料含む)として扱っている
- (6) その他(記載)

Q23【質問 3-6】 <質問 3-1 で(2)(3)を選択された方>

「電子書籍貸出サービス」実施予定開始時期があれば、選択肢からご選択ください(一つ選択)

- (1) 令和元年度(2019年)
- (2) 令和2年度(2020年)
- (3) 令和3年度(2021年)
- (4) 令和4年度(2022年)
- (5) 令和5年度(2023年)以降
- (6) その他

Q24【質問 3-7】「電子書籍貸出サービス」についての問い合わせや要望について、選択肢からご選択ください(複数選択可)

※質問 2-1 で (1) を選択した導入館の方はこの質問は回答しなくて結構です

- (1) 自治体の長（市区町村長、都道府県知事）及び自治体の内部からの問い合わせがある
 - (2) 自治体の議員からの問い合わせがある
 - (3) 住民からの問い合わせがある
 - (4) 現在のところ問い合わせはない
 - (5) その他（記載）
-

Q25【質問 3-8】 電子書籍を提供する主な対象はどのような方でしょうか、選択肢からご選択ください(複数選択可)

※全員ご回答ください

- (1) 幼児（小学校入学前）
 - (2) 児童・生徒（小学生・中学生・高校生）
 - (3) 学生（大学生等）
 - (4) ビジネスパーソン
 - (5) 主婦
 - (6) 高齢者（65 歳以上）
 - (7) 図書館利用に障がいのある人
 - (8) 非来館者（これまで図書館を利用しなかった、できなかった住民の方）
 - (9) その他（記載）
-

Q26【質問 3-9】 電子図書館サービスについて、今後導入を計画・希望するサービスについて、選択肢からご選択ください(複数回答可)

※質問 2-1 ですでに導入しているサービスについて選択しているサービスは除き、未導入のサービスを選択下さい

- (1) 電子書籍貸出サービス
 - (2) 国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス
 - (3) オンラインデータベース提供サービス
 - (4) デジタルアーカイブの提供
 - (5) 音楽・音声情報配信サービス
 - (6) その他（記載）
-

Q27【質問 3-10】「電子書籍貸出サービス」で提供されるジャンル(NDC 分類)について、選択肢から優先度の高いと思われる分野を 5 つまでご選択ください(5 つ以下でも結構です)

※全員ご回答ください

- (1) 0 類 総記
- (2) 1 類 哲学
- (3) 2 類 歴史・地理
- (4) 3 類 社会科学
- (5) 4 類 自然科学
- (6) 5 類 技術・工学
- (7) 6 類 産業
- (8) 7 類 芸術・スポーツ
- (9) 8 類 言語
- (10) 9 類 文学

Q28【質問 3-11】「電子書籍貸出サービス」で提供されるジャンル(非 NDC 分類)について、下の選択肢から優先度の高いと思われる分野を 5 つまでご選択ください(5 つ以下でも結構です)

※全員ご回答ください

- (1) 文芸書
 - (2) 実用書
 - (3) ビジネス書
 - (4) 専門書 (ビジネス書以外)
 - (5) 学習参考書
 - (6) 児童書・絵本
 - (7) 図鑑、年鑑
 - (8) 辞書・辞典
 - (9) コミック
 - (10) 雑誌
 - (11) 新聞
 - (12) 地元資料の書籍
 - (13) 写真集
 - (14) その他 (記載)
-

Q29【質問 3-12】「電子書籍貸出サービス」を実施する場合の課題について、懸念される事項がありましたら、選択肢からご選択ください(複数回答可)

※質問 2-1 で (1) を選択した「電子図書館サービス（電子書籍貸出サービス）導入館」選択の方は回答なしで結構です。

- (1) 電子図書館導入予算の確保
 - (2) 担当部署、担当者の問題
 - (3) 図書館利用者からのニーズ
 - (4) 電子書籍貸出サービスの導入に対する、費用対効果
 - (5) 電子書籍貸出サービスで提供されるコンテンツ
 - (6) 電子書籍貸出サービスが継続されるかどうか（サービス中止に対する不安）
 - (7) 図書館の電子資料を他の図書館へ貸し出すための方法や基準
 - (8) 電子書籍貸出サービスを実施するための十分な知識（経験）がない
 - (9) 電子書籍貸出サービスを選択する場合の基準や方法がわからない
 - (10) 利用者に対する電子書籍貸出サービスの説明
 - (11) その他（記載）
-

Q30【質問 3-13】質問 3-12 で(5)を選択された方におかれまして、以下の懸念がございましたら、選択肢からご選択ください(複数選択可)

※質問 2-1 で (1) を選択した「電子図書館サービス（電子書籍貸出サービス）導入館」の方は回答なしで結構です。

- (1) 提供されている電子書籍コンテンツのタイトル数が少ない
 - (2) 新刊のコンテンツが提供されにくい
 - (3) コンテンツの規格がわかりにくい
 - (4) コンテンツの価格
 - (5) コンテンツ購入（提供）費用の会計処理の基準
 - (6) コンテンツを閲覧するビューアが自由に選べない
 - (7) その他（記載）
-

【4】「デジタルアーカイブ」について

Q31【質問 4-1】 貴館における「デジタルアーカイブ」の状況について、選択肢からご選択ください(複数選択可)

※このアンケートで「デジタルアーカイブ」とは、各図書館及び、図書館が属する自治体が所有する独自の資料、冊子、書物をデジタル化して保存、提供することを対象としています

- (1) 図書館が資料等のデジタルアーカイブ保存を実施している
- (2) 図書館が資料等のデジタルアーカイブ公開を実施している
- (3) デジタルアーカイブの保存の予定がある
- (4) デジタルアーカイブの公開の予定がある
- (5) 現在デジタルアーカイブの保存・公開の予定はない
- (6) その他(記載)

Q32【質問 4-2】 質問 4-1 で(1)を選択された場合について、貴館が独自にデジタル化して保存している資料、公開している資料はどれくらいありますか、それぞれ点数をご記入ください

- (1) デジタルアーカイブ保存点数 []点
- (2) デジタルアーカイブ公開点数 []点

Q33【質問 4-3】 「デジタルアーカイブ」の公開を実施している・実施の予定のある図書館(4-1(2)(3))を選択された方に、デジタルアーカイブ公開のターゲットについて、選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1) 地元住民(当該自治体及び周辺自治体)
 - (2) 学校(主に地元の小・中学校)
 - (3) 住民以外(地元自治体資料、地元観光情報としての提供等)
 - (4) その他(記載)
-

Q34【質問 4-4】 貴館において「デジタルアーカイブ」で公開・提供したい分野を選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1) 図書館又は自治体所有の郷土資料や古文書
 - (2) 自治体の刊行物
 - (3) 自治体が住民向けに発行する広報資料
 - (4) 自治体の発行する地元観光案内（委託して発行しているものを含む）
 - (5) 自治体の公表している行政資料
 - (6) 地元作家・地元にゆかりのある作家の出版物
 - (7) その他（記載）
-

Q35【質問 4-5】 貴館における「デジタルアーカイブ」の課題点を選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1) 資料のデジタル化保存のニーズ不足
 - (2) 資料などをデジタル化するための環境（情報機材、ネットワーク環境等）
 - (3) デジタル化するための権利処理問題（権利者の問題や、権利処理のためのノウハウの問題含む）
 - (4) デジタル化した資料のデータベース化及び ID や書誌データの付与
 - (5) デジタル化予算措置
 - (6) 担当者、人材不足
 - (7) デジタル化するための十分な知識や経験がない
 - (8) 適当な外部事業者がない
 - (9) その他（記載）
-

Q36【質問 4-6】 貴館において独自に資料等をアーカイブして「デジタルアーカイブ」を提供する場合、デジタルアーカイブのコンテンツの二次許諾をどのように考えていますか、選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1) 二次許諾について検討している
 - (2) 二次許諾は考えていない
 - (3) 二次許諾については、ケースバイケースで考える
 - (4) その他（記載）
-

【5】 「国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス」に対する対応 について

※「国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス」とは、国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手困難な資料を全国の公共・大学図書館等の館内で利用できるサービスのことを言います

Q37【質問 5-1】「国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス」の対応について、 選択肢からご選択ください(一つ選択)

- (1) 申し込んで、閲覧・複写サービスを開始している
 - (2) 申し込んで、閲覧サービスのみ開始している
 - (3) 令和元年度（2019年）中に申し込みをする予定で検討している
 - (4) 令和2年度（2020年）以降に申し込みをする予定で検討している
 - (5) 現在のところ申し込む予定はない （差し支えなければ（6）に理由をご記入ください）
 - (6) その他（記載）
-

Q38【質問 5-2】 質問 5-1 で(1)(2)を選択した方について、サービスを開始して感じる利点を、 選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1) より多くの資料を提供できるようになった
 - (2) 新たな図書館利用者の開拓につながった
 - (3) 図書館利用者のニーズに即した資料をより適切に提供できるようになった
 - (4) より迅速に資料を提供できるようになった
 - (5) 相互貸借を減らすことができた
 - (6) 利用者端末の有効活用につながった
 - (7) その他（記載）
-

Q39【質問 5-3】 質問 5-1 で(1)(2)を選択した方について、図書館で「国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス」を開始して感じる課題を以下の選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1) 利用が少ない
 - (2) 魅力的な資料が少ない
 - (3) 操作方法に工夫・改良の余地がある
 - (4) 運用・管理が煩雑である
 - (5) 設備や要員に係る負担が大きい
 - (6) 複写物の提供に係る判断が難しい
 - (7) 利用者への広報の仕方がわからない
 - (8) その他 (記載)
-

【6】その他

Q40【質問 6-1】 貴館の地域の学校図書館への支援・連携について現在の状況を、選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1) 紙の資料・書籍の貸借などの支援を行っている
 - (2) デジタル資料・電子書籍に関する支援を行っている
 - (3) 児童生徒向けに、学校図書館・公共図書館の活用の説明を行っている
 - (4) 特に支援は行っていない
 - (5) その他 (記載)
-

Q41【質問 6-2】 貴館の自治体の教育情報化への対応について現在の状況を、選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1) 学校 (小中高校) の教育情報化についての検討をすでに行っている
 - (2) 学校の教育情報化の検討を年度内に行う予定である
 - (3) 学校の教育情報化の対応は未定 (予定が具体的にない)
 - (4) その他 (記載)
-

Q42【質問 6-3】 貴館において、利用者が使える Wi-Fi サービスを提供していますか、選択肢からご選択ください(一つ選択)

- (1) 利用者が使える無料の Wi-Fi サービスがある
 - (2) 有料の Wi-Fi サービスを案内している
 - (3) Wi-Fi サービスは特に案内していない
 - (4) その他 (記載)
-

Q43【質問 6-4】 その他、全体を通してご意見等ございましたら、ご記入ください (記載)

最終ページ